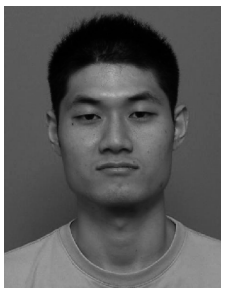
「職場報告」

シャープ株式会社　電化システム事業本部
空調システム事業部　第二技術部
安 川 明 宏（平成 14年 3月 博士前期課程 機械システム工学専攻修了）



シャープ株式会社は、1912年 9月に早川徳次が金属加工業を開業し、「徳尾錠」と名付けたベルトのバックルを考案したのが始まりでした。そして 1915年には、今日のシャープペンシルの元祖である金属繰り出し鉛筆を発明、「エバー・レディ・シャープ・ペンシル」として一世を風靡しました。これが現在の社名の由来となっています。

関東大震災でシャープペンシル工場を焼失した後、1924年、大阪・西田辺の現在の本社所在地に早川金属工業研究所を創設し、ラジオの研究開発に着手しました。その後、テレビ、レコードプレーヤー、電子レンジ、電卓、太陽電池などの開発に成功しました。1970年に「シャープ株式会社」に社名変更し、液晶事業を中心とする総合家電メーカーとして現在に至っています。

私の勤務する電化システム事業本部は、1959年に操業を開始し、以来、わが国でいち早く電子レンジの量産化に成功するなど、高度なエレクトロニクス技術をもとに数々の独創商品を生み出してきました。現在は、主に冷蔵システム事業部、調理システム事業部、空調システム事業部、ランドリーシステム事業部、電化商品開発センター、ハウスエレクトロニクス事業推進センターの 6つの組織で、白物家電製品を中心とした事業を展開しています。

私は平成 14年の入社以来、空調システム事業部第二技術部に所属しています。この空調第二技術部は、エアコン以外の空調関連商品（空気清浄機、加湿機、除湿機、石油・電気暖房機など）の開発を担当している部門です。私は、量販店での営業研修や、マイコン研修、3次元 CADの研修など、様々な研修を受けて、初めの半年間を過ごしました。その後は、加湿機の設計・開発を担当し、現在は空気清浄機の開発・設計を担当しています。

空気清浄機の市場は、喫煙や花粉対策に加え、健康・快適志向の高まりに伴い、急激に拡大しています。当社は、こうしたニーズに対応するために、独自技術である「プラズマクラスターイオン（除菌イオン）」に加え、業界唯一の洗える活性炭フィルターを採用した空気清浄機を開発しています。御存知の方もいらっしゃると思いますが、当社が独自に開発した『プラズマクラスターイオンによる空気浄化技術』には、空気中の「インフルエンザウィルス」などの浮遊ウィルス、「MRSA」などの病原性細菌を不活化する効果があるということが、財 石川県予防医学協会によって確認されています。この「除菌イオン」の技術は、空気清浄機やエアコンなどの当社の商品だけでなく、トイレや自動車など、電化製品以外の業界の商品にも搭載され、好評を得ています。

また最近では、空気清浄機の販売先を日本国内だけでなく、海外にも展開していこうと、海外向けの空気清浄機の開発にも力を入れて取り組んでいます。海外においても、当社の空気清浄機の評価が上がりつつあり、ヨーロッパで展開している機種は、英国アレルギー協会の検定基準を満たし、推奨商品として認証されました。

こういった背景から、最近の私の業務は海外向け空気清浄機の商品開発が中心となっています。海外向けの商品は、各仕向け地によって電源事情はもとより、製品を販売するルールが異なるため、場合によっては、仕向け地ごとに少しずつ違った仕様の商品を開発しなければなりません。この他にも、世界各地の生活習慣の違いを考慮した取扱説明書の作成など、苦労することもたくさんありますが、商品が完成した際には、より一層の達成感を味わうことができます。

最後に、「私はこんな電化商品が欲しい！こんな商品を作りたい！」というアイデアをもっている学生がいましたら、ぜひ当社に入社して頂き、『お客様に満足頂ける商品』を一緒に開発できたらいいなと思います。そして、世界中に商品を展開していきましょう。

加湿機（今秋発売）

空気清浄機（今秋発売）

空気清浄機（今秋発売）